

# 世界一環境先進三重大学 環境関連の受賞歴

世界一の  
環境先進大学の実現

環境コミュニケーション大賞 環境報告書賞 環境経営大賞



23

H23年度

防災・エネルギー・  
環境人財 (3・11  
東日本大震災)



日本一のエコ大学

22

H22年度

生物多様性(COP10)

ISO14001更新審査



3R大賞

21

H21年度

世界一の慣用先進大学

環境方針 改正  
サーベイランス(確認審査)



20

H20年度

3R活動

サーベイランス(確認審査)

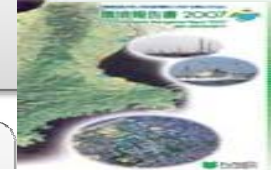


19

H19年度

環境先進大学

三重大学環境マネジメントシステム(EMS)で  
ISO14001認証取得



18

H18年度

大学の社会的責任(USR)

三重大学環境マネジメントシステム構築・運用開始



17

H17年度  
キックオフ宣言

環境配慮促進法(H17.4.施行)

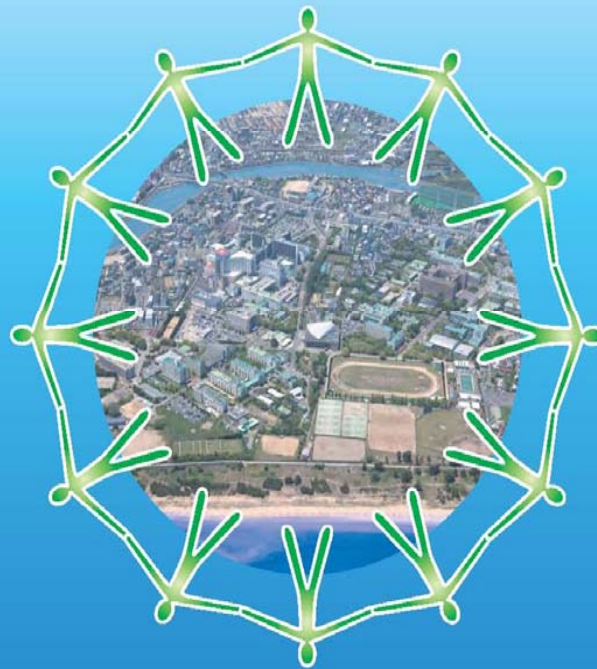
# 表紙は環境報告書の命！



世界一の「環境先進大学」の社会的責任(USR)を果たすために

## 環境報告書 2011

Environmental Management Report 2011  
MIE UNIVERSITY



空・樹・波の三翠に恵まれた三重県内唯一の総合大学として  
低炭素社会、循環型社会、自然共生社会をリードする  
三重大学ブランドの環境人材を育成することで  
世界一の**環境先進大学**を目指します



- 本報告書は、印刷には環境に配慮したベジタフルインクを使用しています。
- 印刷工程では、有害廃液を出さない水なし印刷方式を採用しています。
- この冊子を印刷・製本するときに使用する電力555.2kWhは、三重県のクリーン電力（太陽光発電）で賅われています。
- 印刷用紙4,500冊を作成する際に排出されたCO<sub>2</sub> 1,954.3kgは、カーボンフリーコンサルティング株式会社を通過し、環境省が認証した排出権J-VÉR（岩手県釜石地方森林組合J-VÉRプロジェクト（震災支援のための寄付金を含む））によりカーボンオフセットされ、地球温暖化防止に貢献しています。

 三重大学

# 三重大学環境方針

三重大学は「地域から学び、世界に誇れる」特色ある教育・研究を一層推進するとともに、環境先進大学として地球環境に調和した社会実現に向け、地球温暖化防止のための科学技術や社会システムの教育研究を推進するとともに、学内外の3R (Reduce, Reuse, Recycle) 活動や低炭素活動に積極的に取り組んで「三重大学ブランドの環境人財」を育成し、大学の社会的責任 (University Social Responsibility; USR) を果たします。

## (基本方針)

三重大学は、5学部6研究科が同一キャンパスに集まる環境先進大学の特色を活かして、「地域から学び、世界に誇れる」独自豊かな教育を進めることで「環境人財」を育成します。そのため、大学のキャンパスや施設を活用して学内外の研究力を結集することにより、環境の評価・負荷軽減・改善等の基礎および実証研究を積極的に展開します。教育・研究をはじめ諸活動に関わる環境認識を明確にし、環境関連法令等の要求事項を順守して環境汚染の未然防止に努め、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。

三重大学は、地域社会や地球規模の環境問題を直視して行動し、自らの教育・研究・社会貢献・業務運営の能力を活かして、自然環境が美しく調和し循環する持続可能社会の構築に貢献します。

## (教育)

1 持続可能な社会の実現に向けて、地球規模で環境を学んで地域に立脚し実行できるよう、鋭い観察力、強靱な思考力、的確な判断力を養うための環境教育プログラムを開発し、先進的な環境知識と行動力、環境問題解決能力を兼ね備えた学生を社会に輩出する。

## (研究)

2 地域の企業・行政・研究機関との協働による環境科学技術研究を重点的に推進する。大学キャンパスや施設を活用し、地球温暖化防止、自然共生、資源・エネルギー利用等の革新技術の実現化立証に供する。

## (社会貢献)

3 自然環境を生かした美しい大学として施設を創設・整備して市民に開放しつつ、地域社会で活動する各種環境団体・市民団体・企業・行政等との協力関係を結んで地域との協働の場として活用し、情報発信の拠点となる。

## (業務運営)

4 全学が、ISO14001規格に準拠した環境マネジメントシステムを運用することにより、大学自らが資源の活用やエネルギー消費低減に努め、低炭素社会・循環型社会の実現に向けて努力する。

三重大学は、この環境方針を学内構成員及び関係者に周知し、文書やホームページを用いて一般に公開します。

2009年4月1日

国立大学法人三重大学長 内田淳子

# Contents (目次)

学長メッセージ 環境・情報科学館でエコ情報発信貢献度1位を目指して……………	1
環境方針……………	2
1. 三重大学の概要……………	3
<b>2. トピックス……………</b>	<b>6</b>
①4つの環境関連受賞	
●「第2回エコ大学ランキング総合1位受賞」	
●「第14回環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞」環境報告書賞 公共部門賞を受賞	
●「第14回環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門 環境配慮促進法特定事業者賞を受賞	
●「低炭素杯2011」で環境ISO学生委員会が優秀賞を受賞	
②カーボンフリー大学を目指して	
③環境・情報科学館	
④三重大学3R活動	
<b>3. 特集……………</b>	<b>12</b>
①三重大学の防災 (ECOとBCPとの融合)	
②2011年環境座談会 (防災・エネルギー・環境人財)	
③COP10 in 三重	
<b>4. 環境ISO学生委員会の活動……………</b>	<b>26</b>
●環境ISO学生委員会の平成22年度のカレンダー	
●環境ISO学生委員会が行った活動	
●環境ISO学生委員会が継続的に進めている活動	
<b>5. 環境教育……………</b>	<b>33</b>
●三重大ブランドの環境教育	
●三重大ブランドの環境教育プログラムの特色	
<b>6. 環境研究……………</b>	<b>36</b>
●環境先進大学、地域の環境研究拠点としての環境研究の推進	
<b>7. 環境コミュニケーション……………</b>	<b>42</b>
●教職員の社会貢献活動	
●専門家としての地域貢献	
●地域環境教育への貢献	
●環境関連活動・シンポジウム	
●環境関連機関・他大学とのコミュニケーション	
●部・サークルの環境活動	
●附属学校の環境活動	
<b>8. 環境関連の取り組み……………</b>	<b>50</b>
●省エネルギー体制について	
●省エネルギー対策	
●キャンパスグリーン作戦	
●環境会計	
●マテリアルバランス	
●環境負荷	
●グリーン購入・調達状況	
<b>9. 環境に対する規制についての対策……………</b>	<b>57</b>
●排水量および水質	
●大気汚染防止法	
●化学物質の取り扱い量	
●建物の建設などにあたっての環境配慮	
●ポリ塩化ビフェニル (PCB) の管理	
●アスベスト	
<b>10. 防災・安全衛生への取り組み……………</b>	<b>61</b>
●自然災害に備えた取り組み	
●安全衛生への取り組み	
<b>11. 環境マネジメントシステムの概要……………</b>	<b>64</b>
●環境マネジメントシステムの概要	
●平成22年度環境マネジメントシステム	
●環境マネジメントシステムの状況	
●環境目的・環境目標及び具体的取り組みの達成度	
●環境マネジメントシステムの点検・環境内部監査	
●環境マネジメントシステム (ISO14001) の更新審査	
●最高環境責任者による見直しの記録	
●情報の伝達・収集および共有の手段	
<b>12. 第三者評価……………</b>	<b>73</b>
●三重県との意見交換会	
●中部電力株式会社との意見交換会	
●シエーブ株式会社との意見交換会	
<b>13. まとめ……………</b>	<b>76</b>
●環境報告書ガイドライン2007との対照表	
●編集後記 三重大学環境報告書2011の作成にあたって	
●用語解説	